

再々編成の方向出す

自民特別委 電力事業の基本対策

自民党の基礎産業対策特別委員会
は、八月初めから電力行政一般の
問題点を検討してきたが、このほ
ど同委員会の中間報告として九電
力会社の現状分析とこんどの対策
の方向をまとめた。同委員会はこ
の電気事業の基本対策案を十一日
の同委員会にはかつたうえ、同日
の政策審議会に提出する。

問題が発生させた。この結果、
電気事業の運営に対して『広域
的経営方式の促進を強く要請す
る基礎ができた』とある』として
抽象的に再々編成の方向を行出
している。

三菱、雄別だけが譲歩を示す

炭労の退職手当
炭労では、退職手当の改定をめぐ
って十日までの期限つき要求を各
社に行っていたが、同日夕刻まで
に炭労本部に寄せられた報告によ
ると、三菱、雄別の二社が支給日

公職関係者を追放

文部省、教科書会社に断

教科書の『売込み合戦』に活躍し
ている地方駐在員のうちから、採
択に顔のきく教職員、教育委員、
市町村議員などの公職関係者を
十一月一日から追放することにな
り、文部省は十日、教科書協会、
関係教科書会社と全国都道府県教
委あて通知した。

習会開催禁止の解除を要求してい
るが、同省は講習会問題を除いて
善処を回答する模様。なおこの制
限措置に対しては業界の一部に反
対の声があり『教科書法案提出の
瀬踏み措置だ』という批判も出
ている。

加茂氏選出さる

小樽商大 学長選挙



加茂教授

正雄氏(大阪市立大教授)の三氏
が候補者となり、十日最終投票が
行われたもの。

【小樽発】小樽商科大学の学長選
挙最終投票は十日午後同校内で行
われたが、東京工大教授加茂儀一
氏が有権者の過半数をこえる十九
票をえて学長予定者に選出された
むね、同日午後五時同大協議会か
ら発表された。

加茂氏略歴 明治三十一年十
一月、神戸市に生る。五十八
歳。大正十三年東京商大卒、中
央気象台付属気象技術員講習所
講師、同教授を経て昭和二十四
年東京工大教授となり、現在
東京社会問題研究所理事長、日
本科学史学会評議員をかね、著
書には世界文化史、家畜文化
史、人類発達史、ダヴィンチな
どがある。現住所東京都杉並区
西田町一ノ七七一。

受諾できるか

加茂氏の話 送られてきた新聞
で私が学長候補に選ばれている



北大教養部長 坂元氏

北大教養部長に坂元氏

北大では九
月二十五日
の評議会で
教養部長市
川純彦氏の
任期(四年)満了に伴う後任に理
学部教授坂元義男氏(五九)に決めた

投票不成

【帯広発】
してきた帯
十日午前九
切りの正午
有権者四千
ないため選
時半から開
行すること
再投票の
日(改選)

半額を国庫負担

消防費 消防審議会で

消防の改善強化を図るため正力国
家公安委員長の諮問に応じて四月
から制度改正を検討していた消防
審議会(会長高橋謙財氏)では十
日、正力国家公安委員長に(一)
市町村自治消防の体制を原則とす
るが、国および都道府県がそれを
補う責任をもつよう制度上明確に
する。(二)市町村および都道府
県の消防費に対し国が半額を負担

する。(三)市町村負担分の財源
として固定資産を対象とする消防
税を目的税として創設する、この
三点を骨子とした答申を行った。
制度改正の答申要領につきのお
り。

△組織と権能 綿密な協力体制を
確立するため、国と都道府県は、
市町村の消防行政を補う責任を有
するよう制度上明確にする。消防

団員の奉仕的
支弁、傷病な
うにする。こ
とる。

一、市町村消
令で定め、必
せ、危険物取
下の制限事項
る事項を法令
二、都道府県

の利益。
などを含めた企業全体を一つの担
保とできることにしている。した
がって経済界、金融界は、とくに
この法律の早急な制定を要望して
いるが、具体的な法案作成に当っ
てはつぎのような問題点が挙げら
れている。

一、企業担保制度を利用できる会
社の種類 この制度はその性質
上、企業が個人経営でも、会社そ
の他法人組織のものでも、すべて
の企業に認められるべきものではあ
るが、法務省は株式会社組織によ
る企業のみを認めたい方針であ
る。その理由はこの制度が定期的

東京国税局は
から中旬にわ
波状的に行わ
大会の責任者
職員労働組合
(三)ら同組合
を発令した。
告十九名、訓
分者名はつき
△停職四月
京国税執行

加茂氏選出さる

小樽商大
学長選挙



加茂教授

正雄氏（大阪市立大教授）の三氏が候補者となり、十日最終投票が行われたもの。

加茂氏略歴 明治二十二年十一月、神戸市に生る。五十八歳。大正十三年東京商大卒、中央気象台付属気象技術員講習所講師、同教授を経て昭和二十四年東京工大教授となり、現在東京社会問題研究所理事長、日本科学史学会評議員をかね、著書には世界文化史、家畜文化史、人類発達史、ダヴィンチなどがある。現住所東京都杉並区西田町一ノ七七二。

受諾できさるか
どうかは未定

加茂氏の話 送られてきた新聞で私が学長候補に挙げられてい

【小樽発】小樽商科大学の学長選挙最終投票は十日午後同校内で行われたが、東京工大教授加茂儀一氏が有権者の過半数をこえる十九票をえて学長予定者に選出されたむね、同日午後五時同大協議会から発表された。

同大学の学長選挙は大野前学長任期満了直前の六月末行われたが最終投票で三人の候補が、いずれも過半数がえられず選挙のやりなおしとなり、九月十八日第一次、同三十日第二次投票を行い加茂氏及び大泉行雄氏（香川大教授）実方

市の消防費に対し国が半額を負担

するよ

るこ
には
なじ
選挙
任を
のと
現在
教授
で、
と本
んぶ
い。
に北

任期（
学部教



八週 藤ついでに
縮 維が、輸入抑制、換短の実施、原
毛、原綿の外貨を算削減で市況が
また繰延べ縮小されてい